

## 常総市ボランティアバス 3 便報告と全体報告

一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク  
豪雨災害支援大和ボランティアバス運行実行委員会

2015 関東・東北豪雨災害への支援バスを 2015.11 月 1 日 7 日 11 日それぞれ 1 便、計 3 便の支援バスを大和市から、茨城県常総市へ運行いたしました。

11 月 11 日（日）大和駅前（第 3 便）を 6：30 出発、一路茨城県常総市災害ボランティアセンターへ向かいました。

（常総市災害ボランティアセンター石下サテライトから若宮戸地区へ）

今回 3 便の参加者は 20 名、途中交通渋滞などで、石下サテライトへ 9：30 頃着、石下のサテライトからさらに（常総市 SV のバスで）若宮戸サテライト（サテライトのサテライト）へ移動、用水路の側溝清掃作業や、お花屋さんの清掃作業、個人宅の庭の清掃作業などへお伺いしました。

活動 3 日間（3 便とも）天候にも恵まれ、日中は暑いぐらいの作業でした。



3 便出発準備中



側溝清掃、まずは溜まっている水を排水







ポンプなどを使い排水、バケツも使いました。

排水溝などのごみも撤去しました。



午後からは個人宅の（高齢者世帯）庭の清掃作業、私道の復旧などを行いました。



お花屋さんも被害に合い何とか営業を再開しましたが、未だ片付けが終わらずお手伝いに、お伺いしました、まだまだ常総市では多くのボランティアさんも必要としています、高齢者世帯であったり単身者世帯であったり、地区の自治会などが多くの方々への配慮などをしっかりと行えると、ボランティアさん方も、支援活動が行いやすくなることなど、地域の方々と一緒に復旧作業や支援活動ができる事が、被災地では必要と、改めて実感しました。

災害ボランティアセンターも、全国社協の方々が各地から交代で支援活動に（センター運

営などが多く、2日間～1週間程度の支援活動）来ていました。

今回、常総市や栃木県と関東近郊での被害があった地域は（各地区社会福祉協議会など）支援体制がとられていましたが、短期支援が多く（日々の人数は不足していない状況）引き継ぎ面などでのご苦労も多々あったようです。

現在の常総市は、田畑が多く砂に囲われてしまった地区なども多かったことなど、分散しての地域支援が主立っていますが、避難所支援などの精神的な支援活動が見にくく、支援内容も十二分には伝えられていないように感じます、被災地での支援活動は現場も大切ですが、避難者支援も大きな活動と思います、被災者に寄り添う活動を今後どのように地域と共に行っていくか、まだまだ苦労の絶えない支援活動が続く事と思います。



3便目の参加者皆さんと。 ご苦労様でした。

今回、3便の支援バスを運行できましたことは、関係各位のご協力によるものです。

感謝申し上げます。特に神奈川県共同募金会様からの資金を頂戴し、緊急時（大規模災害等）への対応がいち早くできることは、今後の災害支援への大きな道筋を定義していただけただけだと感じております、大和市はじめ大和市社会福祉協議会様、大和市内の個人、団体様、神奈川県や神奈川県社会福祉協議会さまからのご協力にも感謝いたします、これからの災害と災害の間を多くの問題が蓄積されていくなかで、有効な支援活動への道筋が見えてきたように思えます、今後とも災害ボランティアの諸活動へのご協力をお願いし、関係各位には、ありがとうございましたと、ご挨拶をさせていただきます。本当にありがとうございました。

今回の参加者数1便計14名+2便計28名+3便計20名=合計62名の方々のご参加がありました。

参加いただきました皆様、ご苦労様でした、今後とも各方面での支援活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

2015.11.12 ご報告

一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク

豪雨災害支援大和ボランティアバス運行実行委員会